

教育

キーワード 人的資本理論、シグナリング理論

「人的資本」の概念：人間を労働力ではなく「物的資本」のように扱う。
資本との類似点①修得までに時間が必要、②獲得した人に対して長期的な収入をもたらす、③技能は陳腐化、劣化する。

学歴分布の推移 (p. 59 表 4-1) 高等教育修了者の増加。性別間格差が存在。

大卒者と高卒者の賃金カーブの違い (p. 61 図 4-1)

人的資本理論

「高学歴者は生産性が高く、その結果として賃金が高い。」
大学進学のコスト(直接費用と間接費用(機会費用))と投資収益の関係 (p. 61 図 4-2)
→収益が上回るため、大学に進学する

人的資本理論に対する批判

- ・本当に高学歴者は学校で高い技能を身に付けているのか
- ・人々は将来の自分の収入について正確に認識しているのか

シグナリング理論

- ①学歴ないし学校歴は高い潜在能力をアピール
- ②能力が低い人は高いコストをかけて大学に進学しない→大卒者は能力が高い
- ③学歴間の賃金格差は潜在能力の反映に過ぎない

情報の非対称性の存在→採用には学歴を使った方が効率的

人的資本理論とシグナリング理論はどちらが正しいのか

企業内教育

OJT(On the Job Training)と Off-JT

一般的技能と企業特長的技能

従業員が企業特長的機能を蓄積するには長期雇用を保障する必要がある。